

環境保護及び研究に関するエコグループの活動の体験から

- 1 自治体名：ロシア沿海地方
- 2 発表者名：ダニル・クズヤエフ (Danil Kuzyaev) オレネヴオド町 (Olenevod) 第80号総合学校
- 3 活動名：水資源周辺での清掃活動；河川、海岸等の環境保全に関する住民への啓発教育活動；研究活動；実験；有害物質が環境に及ぼす影響についての研究
- 4 活動期間：2015年5月～2017年5月
- 5 活動場所：沿海地方ナデジディンスキー地区 (Nadejidinskii)、ヴォリノ・ナデジディンスコエ (Volno-Nadejidinskoe) 町、オレネヴオド町 (Olenevod)
- 6 活動参加人数：25人
- 7 活動を始めた経緯：
水資源周辺環境の汚染、市民の環境に関する教育不足などがこの活動を始めるきっかけとなった。

8 発表要旨：

環境保護は、現代社会が直面している重要な問題の一つである。普段の仕事と関係なく、それぞれ人は、環境に影響を与えている。ナデジディンスキー地区の中高生によって構成されたエコグループは、地元の環境を研究し、それを保護する目的として活動している。

活動はいくつかの方針で行われている。

- ・水資源周辺の清掃活動
- ・河川、海岸等の環境保全に関する住民への啓発教育活動
- ・研究活動
- ・実験
- ・有害物質が環境に及ぼす影響についての研究

これらの得られた結果をもとに様々なコンクール、会議に参加している。

私たちが住んでいるところから海辺は近い。学校の生徒たちはよく海岸を訪れる。遊びに行くこともあれば、清掃活動のためにも行くこともある。2014年から私たちは海辺の漂着物調査に参加している。

住んでいる地区に流れる何本かの小さい川は日本海のアムール湾に注いでいる。5年前に「きれいな小川」というプロジェクトを始めた。このプロジェクトの枠組みの中で、小川の清掃活動、川辺では苗の植樹、小川と貯水池とシミッドフカ川の水質の比較モニタリングを行っている。実施したプロジェクトのおかげで、地域の環境が改善し、小川の環境保全に対する地元の人の姿勢が変わった。

私たちのエコグループはもう一つのプロジェクトに取り組んでいる。シコロノエ (Shkolnoe) 湖の環境保護である。学校の生徒たちは定期的に湖周辺、そして近くの森林で清掃活動を行っている。

私たちの活動の中で、実験にも時間をかけている。様々な方法でジャガイモの栽培の実験を行っている。オランダイチゴの栽培も興味深い実験だった。いい収穫を得るために、どの方法で栽培したらいいか明確にした。

研究結果について地区・地方レベルの会議で発表した。また、北東アジア地域環境体験プログラムにも何度も参加したことがある。

環境は人間の周りにあるすべての要素の総体である。環境こそは人類が進化できる機会を与えてくれた。ですから、私たちの主な目的はその環境をきれいにし、保護することである。